

たしかめプリント【小学校三〜四年生】



年 組 番 名 前

1

次の一と二のことわざの意味を、1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

一 「石の上にも三年」

- 1 何事もやってみないと、よさが分からないこと。
- 2 あることが得意な人でも、失敗することがあること。
- 3 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。
- 4 しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

1の一

レベル5

二 「急がば回れ」

- 1 その人のためになる注意は、なかなか聞き入れられにくいこと。
- 2 ていねいに取り組んでも、いっこうに手ごたえがないこと。
- 3 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。
- 4 何事も用心に用心を重ねて取り組むことは難しいこと。

1の二

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

レベル8

一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

レベル8

二 「百聞は一見にしかず」

- 1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分の部分を聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということができる人だ。
- 2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。
- 3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

2の二

2の一

次の【文章の一部】の——部の言葉の意味を、国語辞典を使って調べます。——部の「はかる」の意味は、あとの【国語辞典の一部】の1から4までの中のどれに当たりますか。一つ選んで、その番号を書きましよう。

【文章の一部】

小学生の運動習慣の調査によると、体育の授業以外では、運動をほとんどしない小学生が多いことが分かった。このことから、小学生が運動をする機会を増加をはかる必要があると考える。

〽 (内容が続く) 〽

【国語辞典の一部】

は

- 1 はかる【計る】(動)時間・温度などを調べる。例タイムを計る。
- 2 はかる【測る】(動)長さ・高さ・広さなどを測定する。例身長を測る。
- 3 はかる【量る】(動)重さ・分量などを調べる。例体重を量る。
- 4 はかる【図る】(動)いろいろと考えて計画する。例解決を図る。

レベル8

4

1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

1 降アっていたイ雨ウが、急エにやんだ。

2 ぼくアの妹イの誕生ウ日は、五月二日エだ。

4の二	4の一

レベル7

5

1から3までの文は、下の【文の型】のア・イ・ウのどの型かたに当たりますか。適切なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましよう。

【文の型】

1 私わたしは、国語の学習で感想文を書いた。

2 頂上ちやうじやうから見える景色けしきは、すばらしい。

3 日本で一番高い山は、富士山ふじさんだ。

ア 「何は（が）」 「何だ」
イ 「何は（が）」 「どうした」
ウ 「何は（が）」 「どんなだ」

5の三	5の二	5の一

次の**1**と**2**の言葉を、例の**1**のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、**3**のローマ字は、ひらがなでていねいに書きましょう。

(例) [いぬ] ⇨ inu

1 [りんご] ⇨ _____

2 [あさって] ⇨ _____

3 hyaku ⇨ [_____]

次は、島田さんが一汁三菜のよさについて書いた【説明の文章の一部】です。*——部では、どのようなふうをして書いていますか。そのくふうを説明したものととして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【説明の文章の一部】

昔から、日本の食事には「一汁三菜」というこんだてが取り入れられてきました。「一汁三菜」とは、主食のご飯に、汁物と三種類のおかずを組み合わせたものです。組み合わせることで、一度にいろいろな栄養素をとることができます。

* このことについて、下のわが家の昨夜のこんだてを例にして説明します。主食のご飯からは主に炭水化物を、とうふとわかめが入ったみそ汁からは、たんぱく質と無機質をとる

ことができます。さばの塩焼きからは主にたんぱく質を、かぼちやのものときゅうりのすのものからは、ビタミンをとることができます。

（文章が続く）



〈わが家の昨夜のこんだて〉

- 1 自分の考えを強調するために、複数の事さらに共通する点をまとめている。
- 2 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。
- 3 自分が伝えたいことをくわしく示すために、具体的な事例を取り上げている。
- 4 読み手を説得するために、表やグラフを用いながら自分の考えを書いている。